

**2022年度 10月入学
東京農工大学大学院生物システム応用科学府共同先進健康科学専攻
博士課程学生募集要項 請求方法について**

交付時期 2022年5月16日（月）から小金井地区事務部学生支援室
入学試験係（管理棟1F）の窓口にて交付
(土日、祝日を除く 8:30~17:15)

※ 今年度の募集要項のご請求につきましては、下記に記載されて
いる郵送での請求を推奨いたします。

出願期間 2022年7月6日（水）から7月8日（金）まで
窓口受付時間 9:30~11:30, 13:30~16:00
(土日、祝日を除く)

※ 持参出来ない方は、郵送による手続も認めます。郵送の場合
は、出願期間内必着とします。

試験日 2022年8月19日（金）

募集要項の郵送を希望される方は、返信用封筒（角形2号・A4サイズ）
に切手（普通便 250円・速達便 510円）を貼って、下記の問い合わせ先
までご請求ください。

なお、請求の際は、宛名の横に「生物システム応用科学府博士課程募集要項
請求」と朱書きしてください。

【ご請求及びお問い合わせ先】

〒184-8588

東京都小金井市中町2-24-16 管理棟1F

東京農工大学小金井地区事務部学生支援室入学試験係

電話 042-388-7014 (土日・祝日を除く 8:30~12:00, 13:00~17:15)

2022年10月入学

東京農工大学大学院 生物システム応用科学府

共同先進健康科学専攻 博士課程

学 生 募 集 要 項

国立大学法人 東京農工大学

生物システム応用科学府のアドミッション・ポリシー (入学者受入方針)

教育研究の目的、および人材養成の目的をふまえ、生物システム応用科学府は、以下のような人材を求める。

生物システム応用科学分野の学際性、融合性を考慮し、分野や履歴にとらわれず、高度の専門的・学際的知識の習得と知の開拓に強い意志を持ち、最新の科学技術の展開に関心を抱き、実践的に行動する意欲を持った学生を、広く国内外から受け入れる。

共同先進健康科学専攻のアドミッション・ポリシー (入学者受入方針)

共同先進健康科学専攻は、生命科学・食料学・環境科学に関わる先端研究を推進する能力を有する人材の育成を基盤とする。加えて、国際基準の機器・新薬・分析法等の開発とリスク管理や審査プロセスを統括する能力を具備する研究者や産業界で新製品開発や新技術開発を牽引する最高度開発者・技術者の養成を目的とする。

よって、次のような人材を求める。

1. 生命科学・食料学・環境科学に関わる先端研究の知識や技術に关心があり、これらの習得を通して、先端医療技術、疾病予防、食の安全・安心、食品の機能・管理、環境リスク制御、環境改善など、先進的な健康科学に貢献する意欲のある者。

2. 特定の分野の知識・技能への関心だけでなく、関連する分野や複合領域における多様な課題の発見、解決に关心を持つとともに、新たな技術開発や研究開発へ探求心を持って果敢に挑戦し、産業界や研究開発機関、官公庁等において、国内外のリーダーとして活躍する意欲のある者。

◎ 共同先進健康科学専攻は“早稲田大学との共同大学院”であり、後期3年のみの博士課程です。

1. 共同大学院とは

高等教育機関間の連携協力による教育・研究・社会貢献機能の充実・強化を一層促進すること等を目的に、国公私立大学を通じ、複数の大学が相互に教育研究資源を有効に活用しつつ、共同で教育課程を編成する仕組みを利用した大学院です。

2. 共同大学院の主な特徴

- (1) 東京農工大学と早稲田大学の連名による学位が授与されます。
- (2) 東京農工大学と早稲田大学の両大学に在籍することになりますが、主として研究指導を担当する専任教員（主指導教員）が在籍する大学に本籍を置くことになります。（詳細は、2頁3.(2)を参照）
- (3) 両大学に在籍することになりますので、両大学の施設等を利用することが可能です。
(一部、各大学の事情により利用できない施設等がある場合があります。)
- (4) 東京農工大学に本籍を置いた場合、早稲田大学教員（副指導教員）からも研究指導が受けられる体制となります。
- (5) 東京農工大学と早稲田大学の両大学で開講する、共同大学院の講義を受講することができます。

共同大学院としての分野融合性を重視し、これまでに在籍した学部・分野や履歴にとらわれず意欲を持った学生を幅広く国内外から受け入れます。

～共同先進健康科学専攻では次のような学生を積極的に受け入れます～

- ・ 博士前期課程または修士課程を修了した者ならびに6年制大学を卒業した者でより高度な教育研究を希望する者
- ・ 既に外国の大学で修士の学位を取得した者で、日本の大学院へ進学し、博士の学位取得を目指す者
- ・ 理学・工学・農学の融合教育により、先進的な健康科学の探求を志す者
- ・ 医薬・食・環境などの分野でリーダーとして活躍することを目指す者
- ・ 国民の健康保持増進に寄与する使命を有する企業、公的研究所、官公庁、教育機関等において研究・開発・企画等に従事することを目指す者

3. 重要なお知らせ

(1) 主指導予定教員との連絡について（必須）

出願（出願資格の認定申請を含む）にあたっては、志望する主指導予定教員へ事前に連絡し、研究内容及び学力試験日程等の確認を必ず行ってください。

また、合格した場合は、主指導予定教員へ連絡し、研究計画等の打合せを必ず行ってください。

(2) 出願大学、受験大学、本籍を置く大学について

東京農工大学に所属する専任教員を主指導教員とする場合は、東京農工大学へ出願し、東京農工大学において入学者選抜試験を受験することとなります。

この場合、入学後に本籍を置く大学は「東京農工大学」となり、授業料等の納付、奨学金の申請等に関して、東京農工大学の学生として取り扱います。

※本共同先進健康科学専攻において、東京農工大学と早稲田大学を併願することはできません。

2022年10月入学 東京農工大学大学院生物システム応用科学府 共同先進健康科学専攻（博士課程）学生募集要項

東京農工大学では、平成22年4月に早稲田大学との共同大学院として「共同先進健康科学専攻（博士課程）」を、大学院生物システム応用科学府に設置しました。共同先進健康科学専攻に関する概要、専任教員等の詳細については、「パンフレット（東京農工大学・早稲田大学大学院共同教育課程共同先進健康科学専攻）」または「共同先進健康科学専攻ホームページ（URL：<http://www.tuat.ac.jp/~tw-kyodo/index.html>）」を参照してください。

1 募集人員

専 攻 名	募集人員
共同先進健康科学専攻	若干名

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2022年9月末日までに当該学位を取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30年9月末日までに当該学位を取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年9月末日までに当該学位を取得見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下、「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2021年9月末日までに当該学位を取得見込みの者
- (6) 外国の学校、上記（4）の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
 - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

(8) 個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2022年10月1日現在、24歳に達する者

注) 「出願資格(7)・(8)」により出願する者は、出願資格認定審査(事前審査)を行います。(8頁「出願資格(7)・(8)の認定について」を参照)

なお、医学・歯学・薬学・獣医学に係る6年制の学部等を卒業したこと(又は卒業見込み)のみをもって、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めることができません。従いまして、当該学部等を卒業したこと(又は卒業見込み)のみをもって出願する場合は、出願資格認定審査(事前審査)の対象となりますので、留意してください。

3 出願期間

2022年7月6日(水)～7月8日(金)

窓口受付時間 午前9時30分～11時30分、13時30分～16時

受付は、持参又は郵送とし、郵送の場合は、書留速達とし2022年7月8日(金)必着とします。

4 出願手続

(1) 一般入試により出願する者は、5頁の「5一般入試(1)出願書類等」を参照し、所定の出願書類等を揃えてください。

(2) 持参する場合は、小金井地区学生支援室入学試験係へ提出してください。

郵送する場合は、封筒の表に「共同大学院出願書類在中」と朱書きし、書留速達で小金井地区学生支援室入学試験係へ郵送してください。2022年7月8日(金)までに到着したものを受け理します。

【出願書類提出先及び問い合わせ先】

東京農工大学 小金井地区学生支援室入学試験係

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16

東京農工大学小金井キャンパス内管理棟(1階)

TEL 042-388-7014(直通)

5 一般入試

一般入試は、学力検査と書類選考を総合して行います。

身体に障害がある者で、受験上及び修学上特別な配慮を希望する者は、小金井地区学生支援室入学試験係へ事前に申し出てください。

(1) 出願書類等

出願書類		注意事項
A	入学志願票 (所定用紙)	「志望する主指導予定教員」の欄は必ず記入してください。
B	写真票・受験票 (所定用紙)	「写真票・受験票」には、脱帽上半身で志願者本人と判る写真（縦4cm×横3cm）を貼付してください。
C	修了（見込）証明書	出身大学院が作成した博士前期課程又は修士課程修了（見込）証明書を提出してください。ただし、出願資格(7)・(8)に該当する者は提出不要です。
D	成績証明書	出身大学院で作成したものを提出してください。ただし、出願資格(7)・(8)に該当する者は提出不要です。
E	研究業績一覧 (所定用紙)及び研究業績等の別刷	研究業績等（学術論文、研究発表・報告、特許等）について記入し、提出してください。なお、その研究業績等の別刷又は写し等がある場合には、それも併せて提出してください。ただし、出願資格(7)・(8)に該当する者は提出不要です。
F	修士論文の概要 (所定用紙)	博士前期課程又は修士課程修了者及び大学院に在学中の者は、修士論文の内容を日本語で2000字（英語の場合は500words）以内に要約した概要を提出してください。なお、修士論文に関連した別刷又はその写しがある場合は添付してください。ただし、出願資格(7)・(8)に該当する者は提出不要です。
G	研究計画書 (所定用紙)	（後期3年のみ）博士課程における研究計画を2000字以内にまとめてください。なお、作成に当たっては、必ず志望する主指導予定教員に連絡し、確認を得てください。
H	志望理由書 (所定用紙)	志望理由を横書きで2000字以内にまとめてください。ただし、出願資格(7)・(8)に該当する者は提出不要です。
I	住民票の写し等	1) 外国人は、住民票の写し（国籍等、在留資格、在留期間及び在留期間の満了の日が記載されたものに限る。）又はパスポートの写しを提出してください。 2) 国費留学生は、国費外国人留学生証明書を提出してください。
J	入学検定料	30,000円〔入学検定料払込用紙に志願者の住所・氏名（フリガナ）を記入のうえ、支払期限までに郵便局・ゆうちょ銀行窓口で支払い、「振替払込受付証明書」を入学検定料納付確認票に貼り付けて本学へ提出してください。〕 ※進学志願者（東京農工大学大学院博士前期課程又は修士課程から引き続き進学しようとする者）及び国費外国人留学生は不要です。
K	受付用シール及び連絡受信先シール (所定用紙)	必要事項を記入してください。なお、提出後、住所等の変更があった場合は、速やかに連絡してください。
L	返信用封筒	郵送により受験票の送付を希望する者は、長型3号の封筒に受験票の送付先を明記し、344円分の切手を貼付してください。

(2) 学力検査

提出された修士論文の概要等と研究計画などを参考にして関連する専門分野についての試験及び語学の試験を行います。なお、論文等を外国語で発表している場合には、書類審査の上、語学の試験を行わないことがあります。

(3) 学力検査日及び場所

検査日 2022年8月19日(金)

場 所 東京農工大学小金井キャンパス内

なお、試験会場等の詳細については、別途出願者に通知します。

6 合格者発表

2022年9月5日(月)午前10時に本学ホームページ(<https://www.tuat.ac.jp>)に掲載します。

合格者には、合格通知とあわせて入学手続き書類を郵送します。

7 入学手続き

(1) 入学手続き期日

2022年9月16日(金)

※詳細については別途、連絡します。

(2) 入学に要する費用等

① 入学料 282,000円

※進学志願者(東京農工大学大学院博士前期課程又は修士課程から引き続き進学しようとする者)及び国費外国人留学生は不要です。

② 授業料 年額 535,800円(前期分 267,900円、後期分 267,900円)

ただし、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(3) 必要書類等

在職のまま入学を希望する者は、所属長等の「入学承諾書(所定用紙)」を提出してください。また、他大学院に在学中の者は、「退学証明書」を提出してください。提出できない場合は、入学許可を取り消す場合があります。

(4) その他

身体に障害がある者で、修学上特別な措置を希望する者は、事前に小金井地区学生支援室入学試験係へ申し出てください。

8 注意事項

(1) 出願にあたっては、志望する主指導予定教員へ必ず事前に連絡し、確認を得てください。

(2) 学力検査には必ず、受験票を携帯してください。

(3) 出願手続後における提出書類の内容変更は認めません。

(4) 本要項及び大学からの指示する諸事項を守らない場合は、受験できない場合があります。

(5) 入学試験に関する照会は、4頁に記載の「問い合わせ先」とします。

(6) これ以外の試験に関する注意事項は、出願時に配布します。

(7) 納入した検定料は、いかなる理由があっても払い戻しません。

(8) 入学後、本人の申込みに伴い、入学料・授業料免除及び奨学金団体の制度によっては、出願時の成績証明書及び入学試験の成績を使用することができます。出願時に取得した個人情報に関しては、東京農工大学のプライバシーポリシー(ホームページに掲載)に則り、適切に使用します。

(9) 本試験に関する変更等が生じた場合は、直ちに志願者へ通知します。

(10) 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人東京農工大学安全保障輸出管理規程」を定め、学生の受入れに際し厳格な審査を行っています。

規制事項に該当する場合は、本学から経済産業省(経産省)への許可申請が必要となり、すぐに教育が受けられない場合や研究ができない場合があります。

また、本学からの許可申請について、経産省が国際平和・安全の維持の観点から不許可とした場合、結果的に本学での教育が受けられない場合や研究ができない場合があります。

9 教育研究分野等一覧

教員氏名	教育研究分野	
	専門分野	内容
教授 田中 あかね	獣医学、基礎医学、免疫学	マスト細胞の腫瘍性増殖における細胞周期調節タンパクの発現動態の解析。マスト細胞の腫瘍性増殖や免疫学的活性化における転写因子NF- κ Bの役割の解明。マスト細胞、また広く免疫系細胞の増殖や活性化を制御する分子標的治療法の確立を目指す研究を行う。
教授 田中 剛	生物工学、分析化学	バイオマテリアルを利用した新規バイオセンシング技術、医療診断技術、バイオ燃料創生技術の開発について研究を行う。
教授 田中 秀幸	身体運動科学、体力科学	ヒトの個体レベルを対象として、知覚-運動制御の脳内メカニズムを運動行動学的に研究する。またその応用として、衝突や転倒事故防止を目指した知覚運動機能の向上法について研究を行う。
教授 天竺桂 弘子	生化学、分子生物学、昆虫学	昆虫とヒトの相互補完的な研究。昆虫だけにあるユニークな特徴を利用して、哺乳類モデル動物では解析が困難なヒト疾患の分子メカニズムの解析や、昆虫特有の代謝を経て生物活性が変化した植物由来成分から、医薬品候補化合物を探索する研究。
教授 好田 正	食品化学、食品免疫学、食品機能学	食品の機能性、特に免疫調節機能を解明することにより様々な疾病の予防や症状の緩和に利用することを目的としている。具体的には、アレルギーや生活習慣病などを研究対象としている。さらに、食品由来因子の化学修飾を介して機能性を向上させる取り組みも実施している。
准教授 稲田 全規	生命工学、病態生理学、歯学	疾患モデル動物や遺伝子改変動物を用いた生活習慣病や慢性疾患の病態を解析し、その発症に関わる標的分子・細胞・臓器などのメカニズム解析を行う。創薬への評価精度向上について、病態生理学的な手法を主とした導入研究を行う。

出願資格(7)・(8)の認定について

出願資格の認定とは、本学府への出願資格の有無を判定するためのものであり、下記のとおり実施します。

なお、申請にあたっては、志望する主指導予定教員へ事前に連絡し承諾を得てください。

1. 申請書類受付日時

受付日 2022年6月1日(水)～6月3日(金)

受付時間 9時30分～11時30分、13時30分～16時まで

受付場所 東京農工大学 小金井キャンパス管理棟1階 小金井地区学生支援室入学試験係

なお、やむを得ず郵送する場合は、必ず封筒の表に「共同大学院出願資格認定書類在中」と朱書きし書留速達で、小金井地区学生支援室入学試験係へ送付してください。2022年6月3日(金)までに到着したものを受け取ります。

2. 提出書類等

(1) 出願資格認定申請書（所定用紙）

(2) 卒業（見込み）証明書（出身大学等最終学校長が作成したもの）

(3) 成績証明書（出身大学等最終学校長が作成し、厳封したもの）

ただし、卒業後10年以上を経過した者については、提出不要です。

(4) 志望理由書（所定用紙）

志望理由を横書きで2000字以内にまとめてください。

(5) 研究業績一覧（所定用紙）及び研究業績等の別刷

研究業績等（学術論文、研究発表・報告、特許等）について記入し、提出してください。

なお、その研究業績等の別刷又は写し等がある場合には、それらも併せて提出してください。

(6) 在職（在籍）証明書（様式随意）

主な職歴について、所属長等が作成し、職務内容及び在職期間が明記された在職（在籍）証明書を提出してください。※勤務経歴がない場合は提出不要です。

(7) 医学・歯学・薬学・獣医学に係る6年制の学部等を卒業したこと（又は卒業見込み）のみをもって出願する者については、卒業論文の概要（所定様式「修士論文の概要」を参照に、A4版の用紙を使用して、日本語で2000字（英語の場合は500words）以内に要約し作成したもの）を提出してください。また、卒業論文に関連した別刷又はその写しがある場合は添付してください。

注）卒業論文が課されていない場合は、別途、提出書類を指示する場合があります。必ず事前に主指導予定教員へ申し出て指示に従ってください。

3. 認定審査

本学府において、提出書類等により認定審査を行います。

4. 認定結果

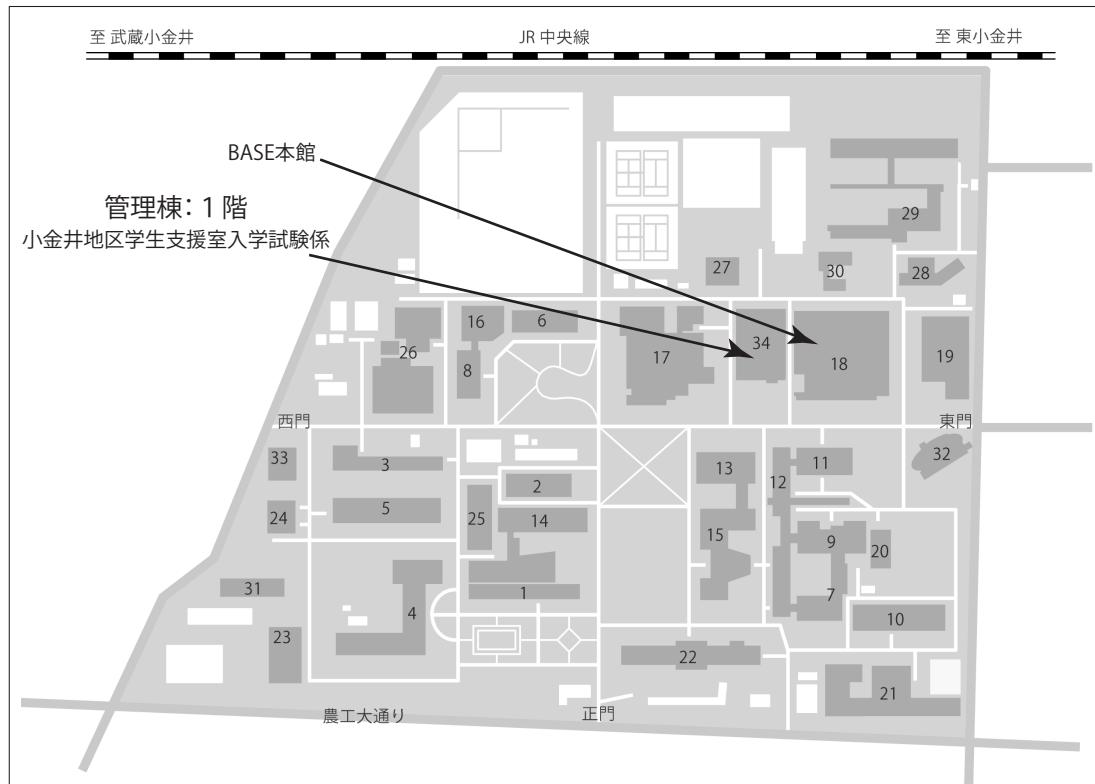
2022年7月1日(金)に郵送します。

5. 出願手続

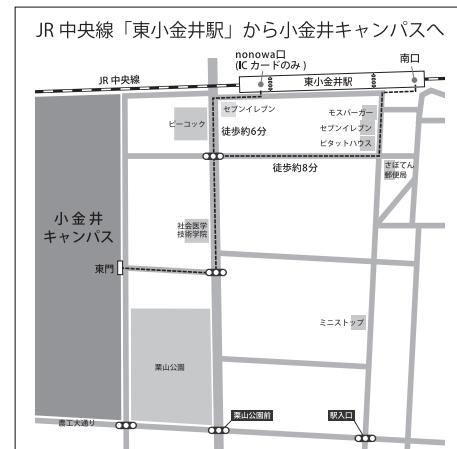
出願資格の認定を受けた者は、一般入試志願者と同様に出願手続を行ってください。

10 所 在 地

東京農工大学小金井キャンパス案内図



1	1号館(応用分子化学生物学・有機材料化学・化学システム工学科)	9	9号館(機械システム工学科)	19	工学部総合会館	32	140周年記念会館(エリブス)
2	2号館(機械システム工学科)	10	10号館(生命工学科・応用分子化学生物学・情報工学科)	20	CAD/CAM実習施設	33	次世代キャバシタ研究センター
3	3号館(電気電子工学科・産業技術専攻)	11	11号館(生命工学科・機械システム工学科)	21	先端産業技術研究推進センター (VBL棟・共同研究施設・インキュベーション施設)	34	管理棟(愛称: CUBE) (工学部事務部)
4	4号館(有機材料化学生物学・化学システム工学科・物理システム工学科・産業技術専攻)	12	12号館(生命工学科・有機材料化学生物学・機械システム工学科・情報工学科)	22	科学博物館		
5	5号館(化学システム工学科・電気電子工学科・機器分析センター・産業技術専攻)	13	13号館(国際センター)	23	先端科学実験棟		
6	6号館(機械システム工学科)	14	新1号館(応用分子化学生物・電気電子工学科)	24	環境管理施設		
7	7号館(情報工学科)	15	工学部講義棟	25	ものづくり創造工学センター		
8	8号館(総合情報メディアセンター)	16	中央棟	26	体育館・武道場		
		17	小金井図書館	27	工学部RI実験研究棟		
		18	BASE本館(大学院生物システム工学科)	28	小金井国際交流会館		
			19号館(男子寮)	29	桜寮(男子寮)		
			20号館(女子寮)	30	桜寮(女子寮)		
			21号館(職員宿舎)	31	小金井第2宿舎(職員宿舎)		



◎交通機関

J R 中央線 東小金井駅 (新宿から約22分) nonowa口から徒歩約 6 分、南口から徒歩約 8 分
武蔵小金井駅 (立川から約13分) 南口から徒歩約13分

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16 ☎ (042) 388-7014 (直通)
小金井地区学生支援室入学試験係

受験志願者 各位

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府

提供いただいた情報の利用について

受験出願に際し提供いただいた個人情報は、本学のプライバシーポリシー（平成17年8月公表 URL. <http://www.tuat.ac.jp/>）に規定する利用目的に沿って利用するものであり、その利用目的以外に利用することはありません。

2022年10月入学 東京農工大学大学院
生物システム応用科学府 共同先進健康科学専攻（博士課程）

入 学 志 願 票

選 抜 区 分	一 般 入 試			受 験 番 号	
				※	
ふ り が な 氏 名 生 年 月 日	年 月 日 生 (歳)			性 别	男 ・ 女
志 望 す る 主指導予定教員			本 籍 (又は国籍)	都・道・府・県 (外国人は国籍)	
出 身 大 学	大学			学 部	学 科
	大学大学院			研究科 教育部(修士・博士前期) 学 府	年 月 卒業
勤 务 先 及 び 職 業	会社名 〒 TEL			役職名	
現 住 所	〒 TEL				
合 格 通 知 等 受 取 場 所	〒 TEL				

履 歴 書

学 歴	年 月	事 項	
高等学校卒業から記入して下さい。なお、大学等で研究生として在学歴がある場合は、その期間も記入してください。			
職 歴			
備 考			
資格、賞罰等がある場合は記入してください。			

2022年10月入学
東京農工大学大学院
生物システム応用科学府
共同先進健康科学専攻（博士課程）

写 真 票

写真欄

写真は脱帽上半身
4cm×3cm

受 験 番 号	※ _____
ふりがな
氏 名
生 年 月 日	年 月 日 生

注) 1 ※印欄は記入しないでください。

2022年10月入学
東京農工大学大学院
生物システム応用科学府
共同先進健康科学専攻（博士課程）

受 験 票

写真欄

写真は脱帽上半身
4cm×3cm

受 験 番 号	※ _____
ふりがな
氏 名
生 年 月 日	年 月 日 生

- 注) 1 ※印欄は記入しないでください。
2 学力検査の際は必ず本票を机上におくこと。
3 受験票は大切に保管しておくこと。

修 士 論 文 の 概 要

受験番号	※	志望専攻	共同先進健康科学専攻	氏名	
修 士 論 文 題 目					
修 士 論 文 の 概 要					

注) 修士論文の内容を具体的、かつ簡明に記入すること。なお、必要に応じて図、表、式等を用いても良い。また、パソコン等による原稿をのり付けしても良い。
※印は、記入しないこと。

研 究 業 績 一 覧

受 験 番 号	※	志 望 専 攻	共同先進健康科学専攻	氏 名				
					学術論文、研究発表・報告、特許等の名称	發 行 又 は 発表の年月日	發 行 所 、 発 表 雜 誌 等 又 は 発 表 学 会 等 の 名 称	備考(共著者名又は 共同発表者名)

注) 年代順に記載し、学術論文等は、別刷又は写を添付すること。また、パソコン等による原稿をのり付けしても良い。
 ※印は、記入しないこと。

研 究 計 画 書

受 験 番 号	※	志 望 専 攻	共同先進健康科学専攻	氏 名	
研 究 (希 望) 題 目					
研 究 (希 望) 計 画 の 概 要					
<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>					

注) パソコン等による原稿をのり付けしても良い。

※印は、記入しないこと。

受 驗 番 号
※

志 望 理 由 書

東京農工大学大学院 生物システム応用科学府 共同先進健康科学専攻（博士課程）の入学志望者、

私 _____ は下記により志望します。

年 月 日

所属・職名等 _____

氏 名 _____ ㊞

◎ 志望理由、過去の研究歴や職務内容と博士課程において希望する研究内容との関係等について 2000 字以内で記入してください。

注) パソコン等による原稿をのり付けしても良い。

※印は、記入しないこと。

2022年10月入学 東京農工大学大学院
生物システム応用科学府 共同先進健康科学専攻（博士課程）

入学試験出願資格認定申請書

ふりがな 氏名		㊞	現職	
生年月日(年令)	年月日(歳)	現住所	〒	TEL
志望する 主指導予定教員				
学歴				
年月日	事項			
職歴 (研究・開発等の業務内容を詳しく記入して下さい。)				
年月日	事項			
	――――――――――――――――――			
学会及び社会における活動状況				
年月日	事項			

注) パソコン等による原稿をのり付けしても良い。

入 学 承 諾 書

氏 名

このたび、上記の者が在職のまま貴大学大学院 生物システム応用科学府 共同先進健康科学専攻（博士課程）に入学することを承諾します。

年 月 日

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府長 殿

住 所

所属機関

所 属 長

印

入学検定料納付確認票

東京農工大学大学院 生物システム応用科学府 共同先進健康科学専攻（博士課程）	
受験番号	※

「振替払込受付証明書」を貼り付けてください。

(注意)

- 郵便局・ゆうちょ銀行の受付日附印がないものは無効です。
- 振替払込受付証明書の所定欄に志願者住所・氏名を必ず記入してください。
- 振替払込請求書兼受領証は大切に保管し、ここに添付してはいけません。
- 納入された入学検定料は原則返還しません。

※印欄は記入しないでください。

入学検定料払込用紙

- 本払込用紙に、志願者（ご依頼人）の住所・氏名（フリガナ）を記入のうえ、支払期限までに郵便局・ゆうちょ銀行窓口でお支払いください。
- 右端の「振替払込受付証明書」を、入学検定料納付確認票に貼り付けて提出してください。（受付局日附印のないものは無効）
- 「振替払込請求書兼受領証」は受領証書となります。改めて本学から受領証書は発行いたしませんので、大切に保管してください。

切り取ってご使用ください

本人保管用
↓

大学提出用
↓

00	払込取扱票												
口座記号番号											金額	千 百 十 万 千 百 十 円	
00120-8-463426											料金	¥ 30000	
加入者名	国立大学法人 東京農工大学										備考		
通信欄	※ 2022年度 入学検定料												
	東京農工大学大学院 生物システム応用科学府 共同先進健康科学専攻（博士課程）												
	支払期限 2022年7月8日（金）												
	必ず窓口で払い込み、ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。												
	志願者住所（郵便番号） ※	志願者氏名（フリガナ） （電話番号 - - -)			日附印	様							
裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）（承認番号東第44194号）													
これより下部には何も記入しないでください。													

切り取らないでお出しください
記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください

口座記号番号	00120-8-463426
加入者名	国立大学法人 東京農工大学
金額	¥ 30000
志願者氏名（フリガナ） ※	ご依頼人 様
〔本人保管用〕	〔大学提出用〕
料金	日附印
円	
備考	

この受領証は、大切に保管してください。
(承認番号東証人第1247号)

振替払込受付証明書（お客様用）
〔大学提出用〕

（払込人⇒郵便局・ゆうちょ銀行⇒ご依頼人）

口座記号番号	00120-8-463426
加入者名	国立大学法人 東京農工大学
金額	¥ 30000
※（志願者住所・氏名）	※（志願者住所・氏名）
ご依頼人住所氏名	〔大学提出用〕
2022年度入学検定料	日附印
東京農工大学大学院 生物システム応用科学府 共同先進健康科学専攻	
日附印のない ものは無効	

① 入学検定料は、必ずこの払込用紙を使用して郵便局・ゆうちょ銀行で払い込んでください。

② 払込の際に日附印を押印した「振替払込受付証明書」を受け取り、入学検定料納付確認票の指定欄に貼り付けて提出してください。

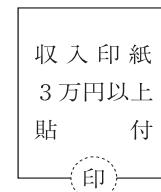
(注意)

志願者住所、氏名欄に記入漏れがないか、郵便局・ゆうちょ銀行の日附印が漏れていないか、確認の上提出してください。

(記入漏れ、日附印のないものは無効となります)

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口にお預けになるときは、引換券に預り証を必ずお受け取りください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼人様が負担することとなります。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



この場所には、何も記載しないでください。

2022年10月入学

東京農工大学大学院 生物システム応用科学府
共同先進健康科学専攻（博士課程）

① ※印欄は記入しないでください。

② このシールは、台紙にのり付けされたままの状態で提出してください。

受付用シール

氏名	性別	出身大學 及出身大學	志望専攻等		学籍番号 (本学修了(卒) (業)見込み者)	検定料 の有無	備考
			志望専攻	指導教員			
フリガナ	男・女	大学 学部 年 月 卒業・卒業見込・在学中 大学大学院 研究科・教育部・学府 専攻	共同先進健康科学専攻			有・無	※
年 月 日生		年 月 修了・修了見込・在学中					

連絡受信先シール

このシールは、「入学手続書類」、その他連絡事項を送付する場合の宛名として使用します。

郵便番号

〒 -

住 所

氏 名

殿

(※)

〒 -

殿

(※)

〒 -

殿

(※)

〒 -

殿

(※)